

中期経営計画（令和4年～令和6年度）

社会福祉法人 咲福社会

【基本理念】

障害者の社会参加を支援する
～必ずある自分の役割を見つけよう～

一人ひとりと向き合い楽しさと笑顔を大切に地域で安心して暮らせる社会の実現を目指す

【事業目標】

地域福祉向上と多様化する利用者ニーズに応える良質なサービスの提供を行う

【目指す法人の姿】

社会資源と経営資源を有効に活用し、利用者や家族・地域住民から信頼され、必要とされる法人となる

【事業方針】

群馬県では、令和3年度から令和8年度までを期間とする障害者施策「バリアフリーぐんま障害者プラン8」を作成しています。

- プラン1, お互いの理解の促進、差別の解消及び権利擁護の推進等
- プラン2, 自立した生活の支援と意思決定支援の推進
- プラン3, 保健・医療体制の充実
- プラン4, 教育の充実
- プラン5, 文化芸術活動・スポーツ等の振興
- プラン6, 雇用の拡大、就労の推進
- プラン7, 情報アクセシビリティの向上と意思疎通支援の充実
- プラン8, 防災・防犯等の推進と安全・安心な生活環境の整備

この計画は、群馬県の障害者施策に関する総合計画であり、福祉分野だけでなく、保健・医療・教育・雇用・まちづくりなど、障害のある人の社会生活や日常生活に関係する全ての施策分野に関する計画であり、当法人としてもこれらのプランを良く理解し、市町村をはじめ各分野の連携を十分に図り、総合福祉を目指す社会福祉法人として、支援を必要としている人の地域生活を支えるために、熱く誠実に向き合い専門性を高めながら、福祉政策の最大のテーマである「地域共生社会の実現」を目指す。

【重点目標】

「るるる戦略の実践（高める・創る・変える）」

1、高める

- ・財務管理、人事管理の体制づくり
 - (1) 法人本部機能の強化と会計事務の適正化
 - (2) 人材の資質向上
 - ・利用者支援に関する専門性や人権意識を高める
 - ・昇格、配置換えなどによる意識改革
 - ・メンタルヘルスマネジメントの配慮など
- ・生産活動や支援活動の向上
 - (1) 利用者工賃：10,000円→15,000円→群馬県平均
 - (2) 利用者支援の多様化：社会生活や就労等自立に向けた学びの場の充実
 - (3) 施設環境の整備：利用者の特性や幅広い活動ができる環境の整備
 - (4) 経営資源の有効活用：年間総利用者数→15,000人、定員利用率→100%

2、創る

- ・日中活動の場、働く場、住まいの場の拡充
 - (1) 支援学校等の社会的ニーズに応えるため、新事業（生活介護）の開設
 - (2) 障害者と家族の地域生活を支える支援の拡充（日中一時支援等）
 - (3) ピアサポーターを活用した社会的就労の場の構築
 - (4) ニーズに合わせた共同生活援助事業の拡充
- ・福祉サービスと支援の在り方を考える
 - (1) 社会の変化に対応したマニュアルの整備やIT化の推進
 - ・BCPや虐待防止委員会などの整備によりリスク管理体制を構築する
 - ・導入モデルや職員の意見を参考に、在宅支援や既存の支援の在り方を見直し、人が人に直接サービスをする対人サービスのプラス化を推進する
 - (2) 従来の福祉は、「支援が必要な人に対して、必要な支援を提供すること」であるが、現代社会においては、「支援の必要な人の変化」や「必要な支援を提供する」等が大きく変容している。福祉は地域に暮らす誰にとっても自分事であり、施設の開放及び見える化により地域と共生を目指す。

3、変える

- ・従来の枠組みや考え方にとらわれない地域福祉のイノベーションを追求する
 - (1) 制度や仕組みをよく理解しより良い障害者福祉サービスを導入していく
 - (2) 生活様式や社会の変化に合わせた福祉サービスを構築する
- ・職員一人ひとりが変わろうと変えようを意識して、大きく変化しているこの先の福祉施設を構築する